

【対談】

企画・制作 朝日エージェンシー西部

広告特集

歯科衛生士が果たす『小児歯科医療』での役割と使命

「体の健康は口から」といわれるよう、口の健康状態は全身の健康と深く関わっている。しかし、口腔のケアの重要性はわかっているが、正しくケアできていないという人も少なくない。そこで注目されているのが、「歯科衛生士」の存在だ。小児期の口腔ケアは成長期ひいては高齢期の口の健康にも影響するだけに、小児歯科医療において歯科衛生士が果たす役割は大きい。

福岡歯科大学教授の岡暁子氏と福岡医療短期大学教授の馬場篤子氏に、小児の口腔機能の課題や歯科衛生士の役割について語つてもらった。



福岡医療短期大学 歯科衛生学科教授
歯科衛生士研修支援センター長
馬場 篤子 氏



福岡歯科大学 成長発達歯学講座
成育小児歯科学分野 教授
岡 暁子 氏

小児に増えている口腔機能発達不全症 口呼吸や指しやぶりが歯並びにも影響

岡 最近の子どもたちを診ていて感じるのは口腔機能が低下してきているということです。口腔機能の代表的なものは「食べる(噛む)のみ込む」機能と「話す機能」になりますが、最初に獲得する機能は「食べる機能」です。現代は、軟食が多い食生活になり、またマスク着用の機会が増えるなど、子どもたちが自然に口腔機能を獲得していくことが難しい環境にあるといえます。小児歯科分野の新しい疾患として口腔機能発達不全症が定義され、2018年から保険診療の適用になっています。

馬場 口が日常的に開いている、いわゆる「お口ポカン」の子どもも増加傾向にあり、呼吸機能の低下も気になります。口腔機能の獲得は、軟食が喉の奥で嚥下するため、喉頭が閉じにくくなることで「お口ポカン」になってしまったりする要因となります。

正しい口腔機能獲得のために歯科衛生士が担う大きな役割

岡 乳幼児期の口腔機能の発達を妨げる因子をうまく取り除いて、正常な口腔機能を獲得させることは小児歯科の重要な課題となっています。食べる機能を正しく獲得するには、乳歯が生

れる前から準備が必要です。診療では

全国で深刻化する歯科衛生士不足 持続可能なキャリア形成と復職支援

岡 口の衰えと体の衰えは大きく関わっています。高齢になつてもオーラルフレイル(※1)に陥らないためには、小児期にしっかりと正常な口腔機能を獲得しておくこと、そしてそれを維持するセルフケアが重要です。そのためのお口のケアは、生まれた時から始めましょうと言つても過言ではありません。歯科医療は生涯にわたつて口腔の健康を支える重要な医療ですが、その一端を担う歯科衛生士が全国的に不足しています。有資格者は約30万人いるのですが、実際に働いているのは約15万人という状況です。

馬場 この問題を解決するために、厚生労働省は2017年度から「歯科衛生士に対する復職支援・離職防止等推進事業」を実施する団体の選定を始めました。2023年に福岡医療短期大学が事業実施団体に選定され、歯科衛生士研修支援センターを設置しました。センターでは昨年6月から月1回セミナーを開催(※2)し、口腔機能管理の基礎知識やスキルナーの実技講習、食事介護の演習などを行っています。歯科衛生士の仕事は幅広く、超高齢社会に伴い歯科訪問診療の需要も高まっています。歯科衛生士は「口腔の健康を通して人々の健康づくりに貢献できる職種」ということを多くの方に知つていただきたいと思います。

※1 オーラルフレイル……食物を噛んだり飲み込んだりする機能が低下したり、滑舌が悪くなったりするなど口の機能が低下しつつある状態

※2 2025年度の研修は2025年5月～2026年1月まで月1回、全9回開催予定。参加費無料

2025年度 厚労省事業の実施計画(案) 新人・復職・スキルアップ	
5/18 (日)	歯周治療における基礎知識(講義) D. H.に必要な画像診断の基礎知識(講義) 歯科衛生士による口腔健康管理(講義)
6/15 (日)	歯科衛生介入としての歯科予防処置(講義・演習) ・口腔内の情報収集 EPPとBOP ・スケーリング・ルートブレイニング ・シャープニング
7/13 (日)	パワースケーラーの取扱い(講義・演習) ・超音波スケーラーとエアースケーラー PTCとPMTCの取扱い(演習)
8/31 (日)	小児期・高齢期における口腔機能管理と指導(講義) ・口腔機能発達不全症の評価と対応法 ・口腔機能低下症の評価と対応法 ・MFTを応用了した訓練の実際
9/14 (日)	頸関節症の基礎知識とD. H.の果たす役割(講義) 機能の評価と対応法(演習)
10/12 (日)	就職ガイダンス 企業セミナー ライフステージに対応した歯科衛生介入(講義) 栄養指導と食事指導 ・妊娠婦期・乳幼児期・学童期・青年期・成人期・老年期における指導の要点
11/16 (日)	歯科衛生アセスメントの手法(講義・演習) ・口腔内スキャナーの基礎知識と操作法 ・口腔内写真撮影の基礎知識と操作法
12/7 (日)	D. H.のためのインプラント処置における基礎知識(講義) インプラント患者の管理の実際(講義)
1/18 (日)	初めて学ぶ歯科衛生過程(講義・演習) ・アセスメントから評価の手法、記録の取り方

乳歯の萌出段階を保護者と一緒に確認しながら、各段階別に獲得してほしい口唇と舌の動きをわかりやすく伝えます。予防を中心とした診療の割合が一緒に行います。予防を中心とした診療の割合が高く、歯科衛生士が担う役割はとても大きく、多くの診療にあたります。小児歯科の場合、治療は歯科医師が行いますが、う蝕や歯周病を予防する歯磨き指導や口腔機能を高めるトレーニング、さらには、必要に応じた食育支援や生活指導などを含めると歯科衛生士が活躍できる部分がとても多い分野です。

馬場 歯科衛生士は歯・口腔の健康づくりをサポートする国家資格の専門職で、歯科医師の診療

を補助するとともに、医師の指示を受けて歯科治療の一歩を担当するなど、歯科医師との協働で患者さんの診療にあたります。小児歯科の場合、治療は歯科医師が行いますが、う蝕や歯周病を予防する歯磨き指導や口腔機能を高めるトレーニング、さらには、必要に応じた食育支援や生活指導などを含めると歯科衛生士が活躍できる部分がとても多い分野です。